



心磨・本学・心鍛

鶴ヶ島中学校
 学校だより
 R2.3.14
 No. 10
 校長：青柳 高

心を磨く 本気で学ぶ 心身を鍛える

ありがとう卒業生

第73回卒業式は、全国的に広がりを見せている新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生と教職員だけという異例の卒業式となりました。立派に成長した卒業生を、来賓、保護者、在校生とともに祝いたかったのですが残念です。



私のモットーの1つに「出来ない事への不満を愚痴るよりも、どんな小さな事でも出来る事への感謝を大切にしたい」があります。この気持ちで乗り切ろうと思います。式辞の全文を載せますが、時短のため実際は省略した部分もあります。

【式辞】

日光街道の桜の蕾も日ごとに膨らみ、昨日から咲き始めました。春の息吹が感じられるこの日に、鶴ヶ島中学校を巣立ちゆく169名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私が皆さんとの出会ったのは二年前です。毎朝各クラスを回ると、黙々と勉強している人、友達と楽しそうにおしゃべりしている人、遅れないように走って教室に入る人、目に焼き付いています。毎朝のルーティーンでしたので臨時休校となった3月2日からも毎朝各教室を回っていました。皆さんがいなくとも目に焼き付いた光景を思い出し、「しっかり生活しているかな」と思っていました。この思いは届いていましたか？さて、本日は、限られた時間の中ですので、「3つのありがとう」をお話します。

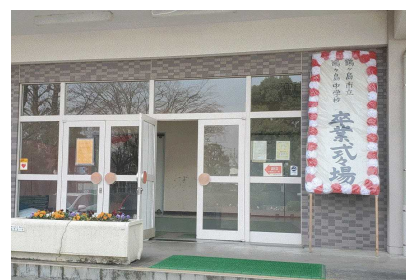
1つ目は、「卒業生にありがとう」です。「3年間で立派に成長してくれてありがとう」です。私は、皆さんとの出会いが2年生の時だったので、1年生の時を知っている先生に、その時の様子を聞きました。当時は、多くの生徒が、自分のことで精一杯で、思うように行かないと不満を言ったり、物や人に当たりトラブルも多くあったようです。それが今では、自分のことより先に相手のことを思ったり、苦手なことや上手く行かないことにも挑戦したりしています。いつからどうしてそうなってきたのでしょうか。

私は、「3年間の思い出は？」と聞いた校長面談の皆さんの答えた中にその答を見つけました。思い出の多くに挙げられた体育祭や合唱祭、修学旅行ですが、その当日の思い出よりも、その前の練習などの取組を挙げてくれた所です。足が痛く、体力の限界にきた時の励まし、音が合わずに諦めかけてきたときの「もう1回頑張ろう」という声。次第にまとまってきたクラスやチームの状況を思い出に挙げてくれた所が、この学年の良い所であり、大きな成長に繋がった理由とと思いました。三年生を見ていた後輩達が、皆さんの後を追ひ、それを追ひ超そうとしています。ここにいない在校生のみんなも「ありがとうの」気持ちは同じです。本当にありがとうございます。



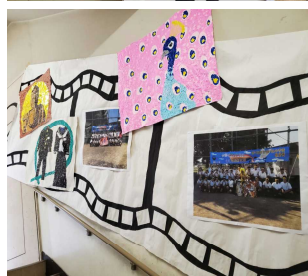
二つ目は、「鶴中を支えてくれた保護者や地域にありがとう」です。本日、保護者や地域の方が参列しておりませんので、学校だよりに書いておきましたので読んで下さい。

思春期という難しい時期に、友達の事、学校で起こった事、家での事で多くの悩みを抱える時期でした。この心配な状況下で距離をおいて見守る難しさを痛感したと思います。3年間で大変な苦勞をかけたと思いますが鶴中を卒業する子ども達は人の苦勞や心配をくみ取れるまでに成長してくれています。我々教職員は、生徒のおかげで自身が成長できたと感じています。保護者の皆様も、子供と一緒に成長できる喜びを持ち続けて見守ってあげてください。ここまで三年生が成長できたのも保護者のお陰であると思っています。本当にありがとうございます。そして、地域の皆様には、学校から離れたところでも見守っていただきました。特に駅伝チームが全国大会に出場する際には大変お世話になりました。地域の方のお陰で乗り越えることができました。これから先、卒業生も鶴中だけでなく地域や鶴ヶ島市のことを大切に考えてくれると思います。本当にありがとうございました。



3つ目は、「鶴中の教職員にありがとう」です。3月2日の職集で、「出来ない事への不満を愚痴るよりも、どんな小さな事でも出来る事への感謝を大切にしてください。」と話しました。本来であれば、在校生と一緒に準備する卒業式ですが、数日前からこつこつと準備を始め、今日を迎えることが出来ました。この式場をもう一度よく見渡してください。紅白幕、椅子、花、掲示物、各クラスの個名簿等、また、各教室や廊下等、これらの一つ一つに、先生方の思いが詰まっています。在校生の気持ちも込めながら準備したので在校生の気持ちも詰まっています。これらの気持ちを感じ取ることが出来ましたか？これも卒業生の3年間の成長が、先生方を駆り立て動かしたのだと思っています。本当にありがとうございます。

最後に、この先、多くの喜びや多くの困難に立ち向かうことがあると思いますが、皆さんの周りには、多くの方が支えてくれていることを心に刻み、鶴ヶ島中学校3年間で身につけた力を発揮して乗り越えてください。卒業生一人ひとりが、夢を追い続け、常に一步先を目指すこと、社会に貢献し輝かしい人生を歩むことを心から願い、式辞と致します。



卒業記念品の紹介

令和元年度卒業記念品として、上の写真にある大型テントと固定用の重りを頂きました。体育祭をはじめ大切に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。

新型コロナウイルス予防対策

先日、PTA会長が来校され、体の免疫力を高めてコロナウイルスに負けない体づくりが必要との話がありました。私も同じ考えで、「バランスの良い食べ物を取り、腸内環境を整え免疫力を上げること」「規則正しい生活と適度な運動をして体力を落とさないこと」が大切であると思います。因みに私は、必ず毎朝に味噌汁を飲み、昼の弁当には、自分で作った味噌と畑でとれた蒔の薑で作った蒔味噌を入れています。休みの日には、朝おむすびをもって裏山の高取山に登っています。

学校だよりのカラー版

学校だよりのカラー版を鶴中のホームページに掲載しています。是非ご覧になってください。

